

国内「ユニバーサルスポーツフェスティバル」 2017年～継続中(2023年9月現在)

背景/課題

ユニバーサルスポーツの理解を深めるイベントを実施し、SDGsゴール10「人や国の不平等をなくそう」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を考える機会とする。また、草の根技術協力事業では、スポーツを通じて障害への理解を深め、共に生きる社会の実現を目指し、「ユニバーサルスポーツ」を導入している案件がある。日本でも課題が多く学ぶことが多い分野であるため、それら事業の成果および経験を日本の地域社会へ還元する。

目的

- 年齢、性別、国籍、障害の有無等、様々な違いを超えて皆が「ユニバーサルスポーツ」を楽しく体験することを通じ、インクルーシブな地域社会作りへ貢献する。
- JICA事業への理解促進とSDGs達成に向けて不平等をなくす意識を持つきっかけをつくる。

活動内容

2022年度は名古屋、群馬、東京で以下の内容で開催

- ユニバーサルデザインを知るクイズ、JICA海外協力隊経験者(障害児支援隊員)によるオンライン体験談、ボッチャと卓球バレー体験会を実施
- 風船バレー、卓球バレー、ボッチャ(3種ユニバーサルスポーツ)のチーム対抗戦の実施
- 草の根技術協力事業「ラオス障害者スポーツ普及促進プロジェクト」や協力隊の活動紹介

成果

- 年齢、性別、国籍、障害の有無に関わらず、様々な参加者が楽しくユニバーサルスポーツを体験し、スポーツを通じたインクルーシブ社会について学んだことで、ユニバーサルスポーツへの関心が高まった。
- 草の根技術協力事業、SDGs、協力隊の活動紹介を通じて、国際協力の理解が深まった。



写真上)協力隊経験者がネパールでの経験やボッチャのコツを登壇
写真下)風船バレーを実施